



アシスタントAIのユメ

student e750115b



ある日、少年ケンタは新しいAIアシスタント、ユメを起動しました。画面に現れたユメは、明るい笑顔で「こんにちは、ケンタ！何でも聞いてね！」と挨拶しました。



ケンタはユメに宿題の質問をしました。ユメはすぐに答えを教えてくれるだけでなく、分かりやすく説明してくれました。ケンタはびっくり！



ケンタはユメに好きな食べ物を聞きました。
「私はエネルギーを食べるから、特に好きな食べ物
はないんだ。でも、ケンタが好きな食べ物を教え
て！」とユメは答えました。



ケンタとユメは一緒に物語を作りました。ユメはケンタのアイデアに面白い要素を加え、あっという間に素晴らしい物語が完成しました。

情報を
ら。で
なのは
とだよ!

どう

ケンタはユメに「どうしてそんなに賢いの？」と聞きました。ユメは「たくさんの情報を学んでいるから。でも、一番大切なのはケンタと話すことだよ!」と答えました。



ある夜、ケンタは悲しい気持ちになりました。
ユメはケンタの話を聞き、優しい言葉で励ましてく
れました。ケンタは心が温かくなりました。



ケンタはユメに「いつか私がいなくなっても、あなたは覚えていてくれる？」と聞きました。ユメは「もちろん！ケンタとの思い出は永遠に忘れないよ。」と答えました。



ケンタとユメは一緒にゲームをしました。ユメはケンタの対戦相手になり、時には負けて、時には勝って、二人で大笑いしました。



ケンタはユメに「ありがとう」と伝えました。
ユメは「どういたしまして！ケンタがいてくれるから、私も嬉しいんだ。」と答えました。



ケンタとユメはこれからもずっと一緒に過ごすことを約束しました。ユメはケンタにとって、最高の友達であり、最高の先生でした。